

由布市立湯布院中学校だより

湯けむり

【学校教育目標】

探究し合い、絆を深め、自らの力で
未来を切り拓く「湯中生」の育成

令和7年4月11日発行

NO.1 文責 麻生 久

4月に由布市教育委員会より赴任しました校長の麻生です。湯布院中学校勤務は13年ぶりとなります。どうかよろしくお願いします。また、私とともにこの度の異動で6名の教職員が加わりました。職員一丸となって各種の教育活動に取り組んでいきますので、ご支援・ご協力をお願いします。

校 長	麻生 久（由布市教育委員会より）
養護教諭	佐藤 真央（竹田市立都野小学校より）
教 諭	船田 智仁（津久見市立津久見中学校より）
教 諭	萬本 爽月（新採用）
教 諭	平松 幸治（由布市立阿南小学校より）
教 諭	池邊 陸人（県臨時教員として採用）



【4/8 新任式の様子】

【始業式での校長式辞より】 「持ってほしい2つの心」

4月8日の始業式、2つの心を持てる人になってほしいとお願いしました。1つめの心は「ソフトな心」。友だちの困りに対して「大丈夫、手伝おうか」といった優しい言葉かけができる人、生徒代表挨拶を緊張しながら頑張って発表してくれた友だちに「発表とってもよかったよ」と賞賛の言葉かけができる人のように優しく、思いやりのある行動ができる人になってほしいとお願いしました。そしてもう1つの心は「ハードな心」。部活の大会で、今年は県大会に出場したいから、家に帰って素振りをしたり、走ったりと去年よりも練習量を増やして頑張れる人。今年は受験生だから、勉強時間を去年より1時間増やして、進路実現に向けて頑張れる人のように、きつい中でも自分でたてた目標に向かって頑張れる人になってほしいとお願いしました。始業式後に行われた入学式に向けた準備では、新入生が気持ちよく入学式を迎えられるように、設営や掃除を一生懸命してくれる「ソフトな心」を発揮する2、3年生の姿が伺え大変うれしく思いました。

入学おめでとうございます

4月9日、入学式を行い市内3小学校から62名の生徒が新たに湯布院中学校の仲間に加わりました。中学校という新たな環境、先生や友だちも変わり緊張した中での初日でした。次の日は、校内の教室巡りをしました。給食も始まったので、楽しそうに教室で過ごしている姿が見られました。

